

シーボーク500FT

道糸入力方法「指定入力編」

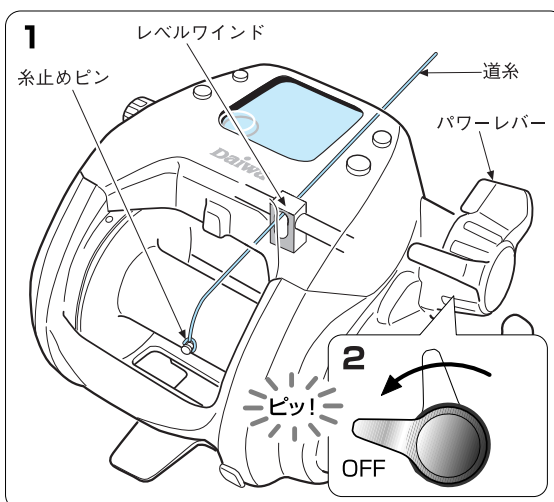
PO 指定入力

指定入力とは当社タナセンサーブライトまたはナイロン糸を巻かれるときに、次ページに記載の糸種・号数・巻き糸量の中から選択してセットするだけでデータが入力され、使用できる便利な方法です。（タナセンサーブライト5号400mを巻いて入力することを例にしてご説明します。）

※当社タナセンサーブライト6号300mを巻かれる場合は手順1～3までの操作でご使用できます。ただし、下巻きをせずにスプール底から巻く場合に限りです。

1. 道糸をレベルウィンドに通してスピールに結んでください。

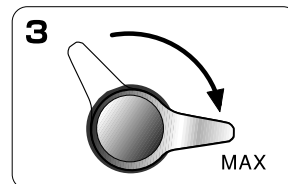
※付属の糸通しピンを使うと簡単に通せます。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。



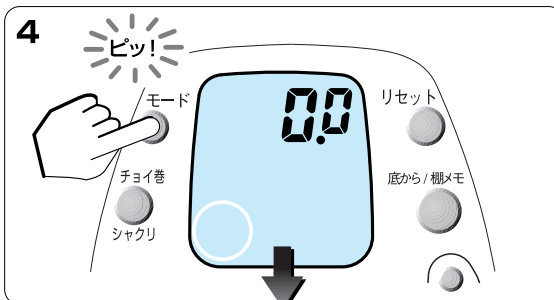
2. パワーレバーをOFFまで戻します。

3. リールを通电させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し最後まで道糸を巻いてください。

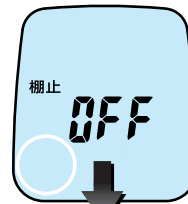
※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。
※糸を巻き込まないように注意してください。
※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないうで注意ください。



4. 表示が [0.0] のときに **モード** スイッチを5秒間押し続けてください。

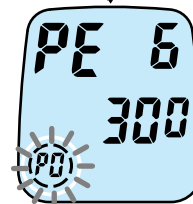


※およそ2秒後に棚停止ON/OFF切替画面になりますが、そのまま押し続けてください。



5. 初期設定PE (タナセンサーブライト) 6号-300mの画面になります。

PO が点滅します。（6号-300mは初期値です）



6. パワーレバーで、ご使用になる糸と巻き量の組合せを選択してください。

※図の場合では5号-400mのデータがセットされます。

・パワーレバーを前後に動かすと、以下の選択可能なデータが表示されます。



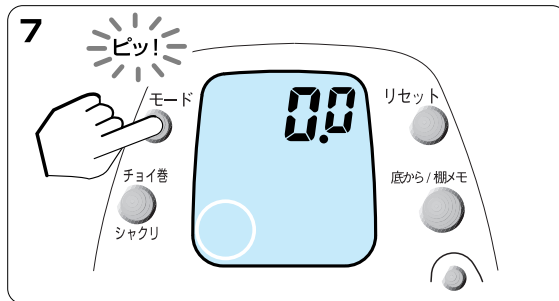
選択可能なデータ一覧表

PE (左上の表示がPEの場合) (m)				フロロ (左上の表示がLの場合) (m)	
4号	—	400	500	6号	300
5号	300	400	—	6号	350
6号	200	300	—	7号	300

※シーボーク500FTには、あらかじめタナセンサーブライト6号-300mのデータが入力されています。タナセンサーブライト6号-300m巻く場合は、このモードで選択セットする必要はありません。

7. モード スイッチを押してください。

アラーム音が鳴り、表示が **0.0** mになれば完了です。



便利

糸を巻く前に手順4, 5, 6の操作を行い、以下A, B, C, Dの操作で入力を行うと、糸の巻き込みを防止する自動停止機能が働きます。

A. リセット スイッチを2秒押すとコマセタイマー部分が **PO** 点滅から **0** (テンション目安表示) に変わります。

B. パワーレバーをMAX位置まで倒して道糸を巻きます。

パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。

C. 選択した巻糸量の残りがおよそ5%手前になったところで、自動停止します。

(例：巻糸量400mの場合、残り約20mになったところで自動停止します。)

但し、テンションが強すぎたり、弱すぎると止まる位置が5%手前にならないことがあります。

D. 残り糸を端点を巻き込まないように注意して巻き、リセット スイッチを2秒押し、表示が **0.0** mになれば入力完了です。

道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」 P1 糸長入力

リールに巻く糸の長さがわかっている時に便利な方法です。
(PE6号300mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

1. 道糸をレベルwindに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

2. パワーレバーを手前に戻します。

3. リールを通电させ表示が「0.0」のときに「モード」スイッチを5秒間押し続けてください。

※表示が「0.0」でない場合は、入力画面になりませんので、その場合は「リセット」スイッチを押して、表示を「0.0」にしてください。

※およそ2秒後に棚停止ON/OFF切替画面になりますが、そのまま押し続けてください。

右下図のような表示に変わり「P0」が点滅します。

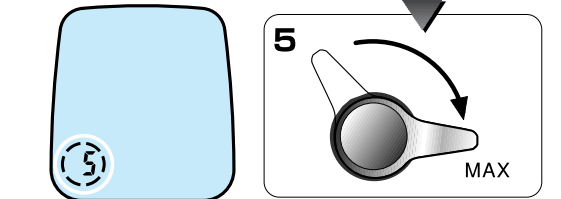
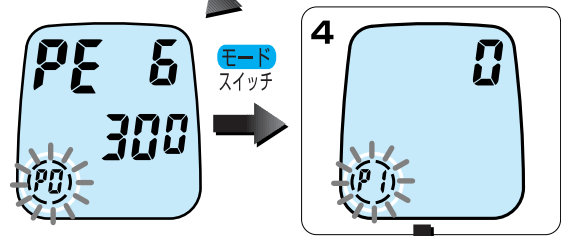
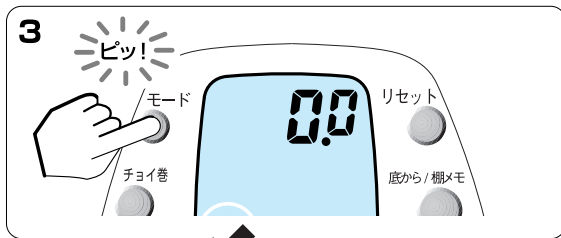
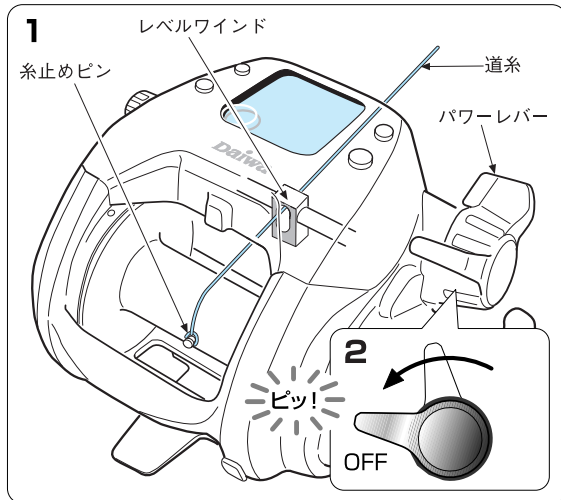
4. 「モード」スイッチを押して糸長入力画面にしてください。

「P1」が点滅します。

※ドラッグがゆるんでいると糸が巻けませんので、しっかりとドラッグを締め込んでください。

5. パワーレバーをMAXの位置まで倒して道糸を巻きます。

パワーレバーを倒すと「P1」(画面左下の数字)がテンション表示に変わり上のカウンターの数値が上がります。
パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。



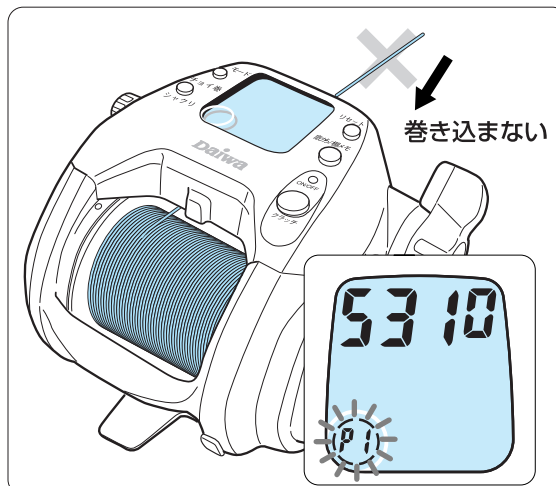
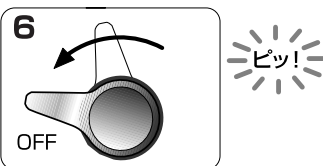
- ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
 - ・屋内で低速・高テンションで長時間(10分以上)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になりますので、電動での巻上げを自動で停止します。できるだけ速いスピードで入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- (※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

6. 巻き終わったらレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)



・糸の端を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。

※右図のカウンター数値は例として表示していますので、実際の数値とは異なる場合があります。



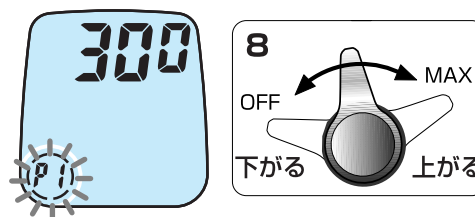
7. **リセット** スイッチを2秒以上、表示が **400** になるまで押してください。

(400は初期値です。)



8. パワーレバーで、道糸の長さをセットします。

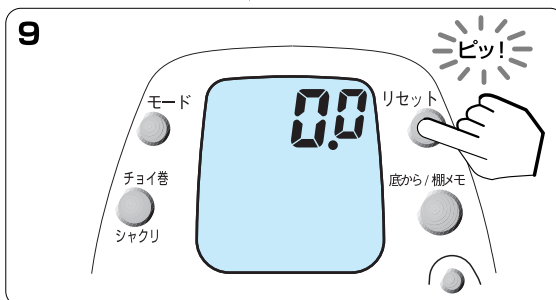
(図は、300mにセットした場合です。)



9. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

アラーム音が鳴り、表示が **0.0** になれば完了です。

※ **Err** になった場合は、**モード** スイッチを押して始めから再度入力をしてください。又は引出し入力 (P24,25参照) をしてください。



道糸入力方法「下巻き入力」

P2 下巻き入力

ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

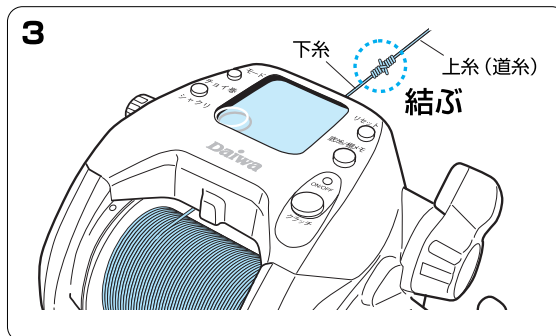
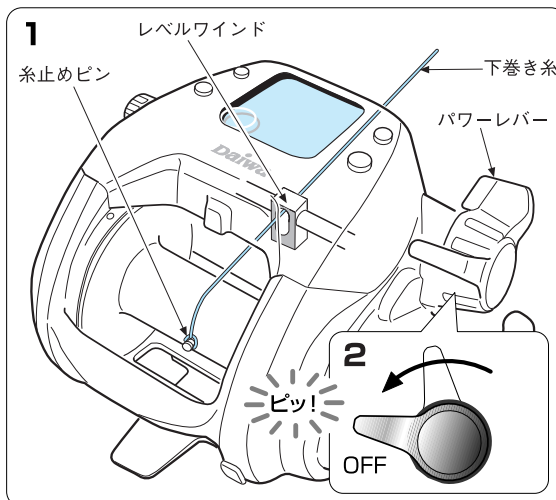
1. 下巻をレベルwindに通してスプールに結び、通電させてください。

※付属の糸通しピンを使うと簡単に通せます。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

2. 下巻用の糸を巻きます。

※パワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度OFF位置(手前)に戻してから出力してください。

3. 上糸をしっかり結びます。

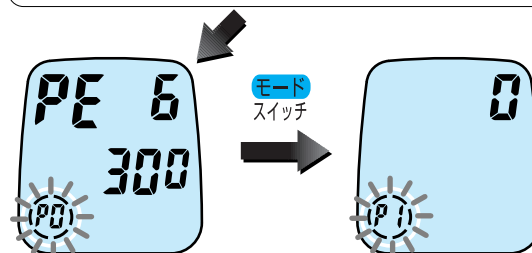
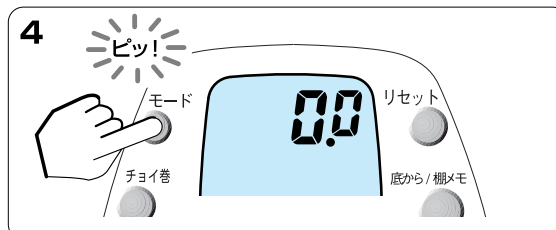


4. 表示が **0.0** のときに **モード** スイッチを5秒間押し続けてください。

※表示が **0.0** でない場合は、入力画面になりますので、その場合は **リセット** スイッチを押して、表示を **0.0** にしてください。

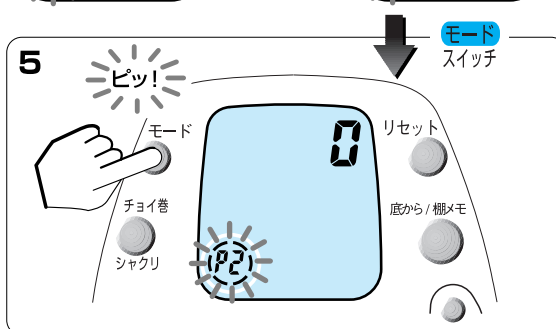
※およそ2秒後に棚停止ON/OFF切替画面になりますが、そのまま押し続けてください。

P0 が点滅します。



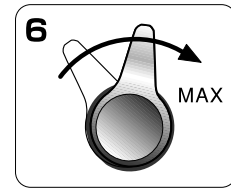
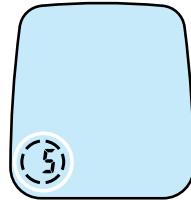
5. **モード** スイッチを2回押して下巻き入力画面にしてください。

P2 が点滅します。



6. テンションをかけて残り100mになるまで道糸を巻いてください。

パワーレバーを倒すと **P2** (画面左下の数字) がテンション表示に変わり上のカウンターの数値が上がります。



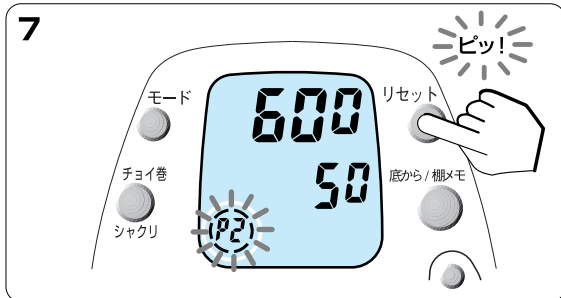
パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整してください。



- ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようご注意ください。
 - ・屋内で低速・高テンションで長時間(10分以上)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になりますので、電動での巻上げを自動で停止します。できるだけ速いスピードで入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- (※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

7. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

P2 が点滅し、下のカウンターが **50** になります。上のカウンターの数値は糸を巻くと増えていきます。



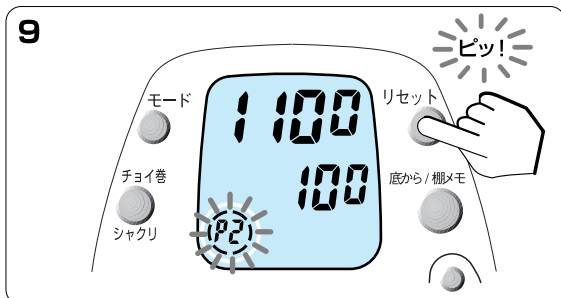
8. テンションをかけて糸色に注意しながら50mを巻いてください。

9. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

下の数字が **100** になります。

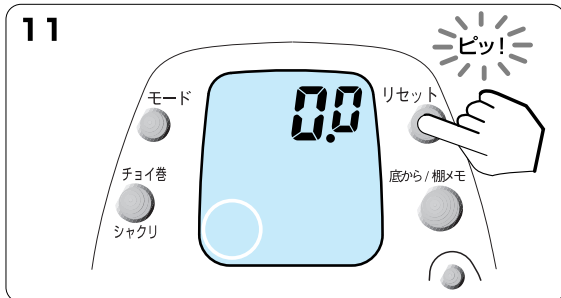
10. テンションをかけて糸色に注意しながら残りの50mを巻いてください。

11. **リセット** スイッチを2秒以上押して表示が **0.0** mになり完了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。

※ **Err** になった場合は、**モード** スイッチを押して始めから再度入力、又は引出し入力(P24,25参照)をしてください。



道糸入力方法「引出し入力」

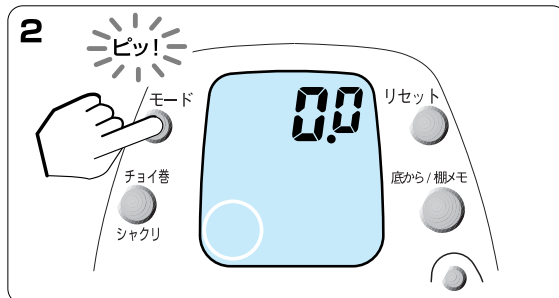
P3 引出し入力

道糸を巻き終わった状態から再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

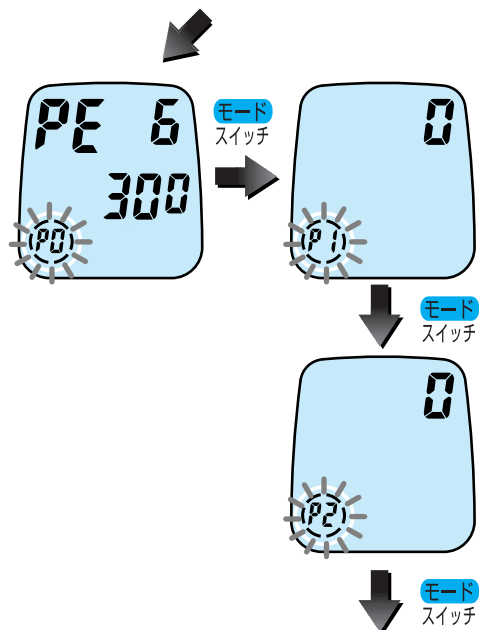
1. 通电させてください。

2. **モード** スイッチを5秒以上押して **PO** モードにします。

※およそ2秒後に棚停止ON/OFF切替画面になりますが、そのまま押し続けてください。



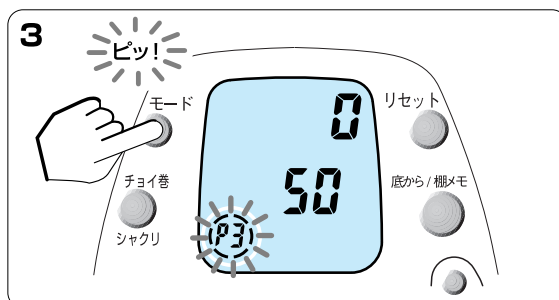
※表示が **0.0** でない場合は、入力画面になりませんので、その場合は **リセット** スイッチを押して表示を **0.0** にしてください。



3. さらに **モード** スイッチを3回押して、引出し入力画面にしてください。

P3 が点滅します。

4. 糸のマークに注意しながら、50m引き出します。



5. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

下の数字が **100** になります。

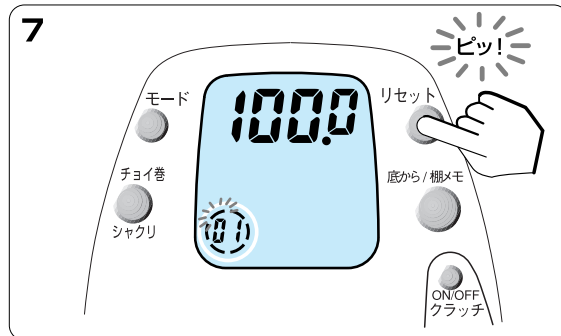


6. さらに糸のマークに注意しながら50m
引き出してください。

7. **リセット** スイッチを2秒以上押して
表示が **100.0** mになります。

※コマセタイマーがスタートします。

8. 引き出した糸を100m巻き取り完了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。
- ・この入力方法で入力した場合は100mを超える範囲では、糸長を表示しない場合があります。

※ **Err** になった場合は、**モード** スイッチを押して
始めから再度入力をしてください。